Form No. 3457-871 Rev A

油圧スイッチキット

Sand Pro® 5040 トラクションユニット

モデル番号 08783—シリアル番号 410000000 以上

取り付け要領

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

⚠ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- **万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受けてください。万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受ける必要がある。**
- **油圧装置を作動させる前に、全部のラインコネクタが適切に接続されていること、およびラインやホースの状態が良好であることを確認すること。**
- **油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。**
- **リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。**
- **油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。**

このキットの取り付けにはフロント昇降フレームモデル08712が必要です。

***重要*この機械に本来の性能を発揮させ安全にお使いいただくために、この*オペレーターズマニュアル*に記載されている内容を十分にご理解ください。適切な講習を受けなかったり、正しい操作方法を守らなかったりすると、けがをする恐れがあります。安全な運転操作や安全確保のためのヒントなどについて、より詳しい情報はこちらへwww.Toro.com。**

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

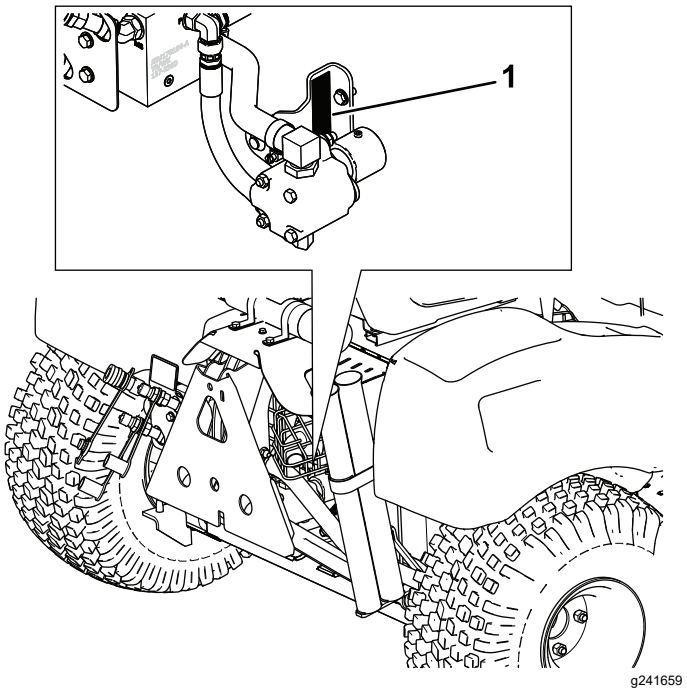


図 1

1. 銘板取り付け位置

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

注 サンドプロモデル 08705にこのキットを取り付ける場合には、追加部品が必要になります。このキットに同梱されている補遺文書を参照してください。

© 2022—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

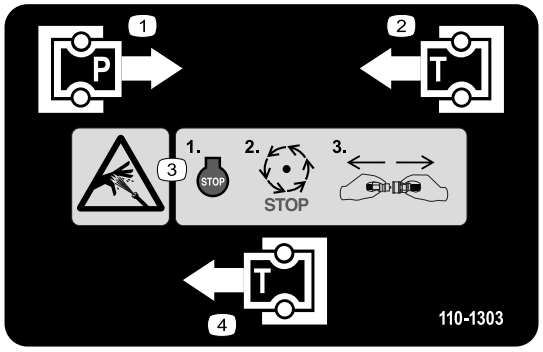
この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3457-871

安全について

安全ラベルと指示ラベル

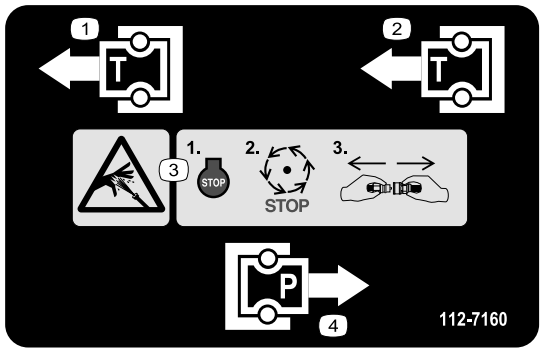
危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal110-1303

110-1303

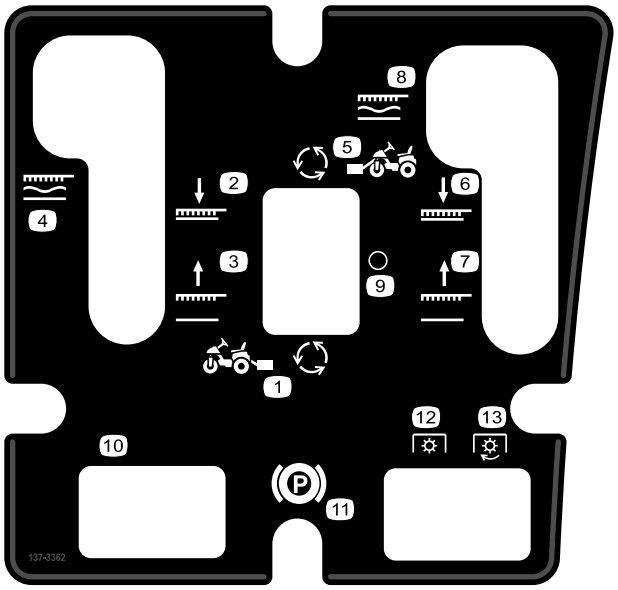
1. 水圧
2. タンク
3. 高圧流体が噴出して体内に入る危険クイックコネクトポートの接続を取り外しは、必ずエンジンを停止し、アタッチメント停止してから行うこと。
4. タンク



decal112-7160

112-7160

1. タンク
2. タンク
3. 高圧流体が噴出して体内に入る危険クイックコネクトポートの接続を取り外しは、必ずエンジンを停止し、アタッチメント停止してから行うこと。
4. 水圧



decal137-3362

137-3362

1. 後アタッチメントON
2. 後アタッチメント降下位置
3. 後アタッチメント上昇位置
4. 後アタッチメントフロート固定位置
5. 前アタッチメントON
6. 前アタッチメント降下位置
7. 前アタッチメント上昇位置
8. 前アタッチメントフロート固定位置
9. Off
10. アワーメータ
11. 駐車ブレーキ
12. PTO 切(下)
13. PTO — 入上

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	–	エアクリーナを取り外します。
3	必要なパーツはありません。	–	油圧タンク、左後輪アセンブリ、シュラウド、運転席を外します。
4	必要なパーツはありません。	–	後ヒッチチューブと昇降システムを外します。
5	小さい 90 度ティーバーブ 大きい 90 度エルボ両端にねじ山付き ストレーナ バルブブロックの戻りホース	1 1 1 1	油圧オイルタンクにフィッティングを取り付けます。
6	油圧ポンプ 90度フィッティングオス端部 ハブアセンブリ 角キー(1/4 x 1 インチ 固定ねじ5/16 x 3/4" ポンプブラケット ボルト 5/16 x 3/4"ねじ山にロッキングコンパウンドを塗りつける ワッシャ⅜" 大きい 90 度エルボホース側端部はバーブ	1 1 1 1 4 1 2 2 1	油圧ポンプを取り付けます。
7	U字フィッティング金属管 90° エルボ 字フィッティング キャップ プラグ メスのフィッティング リテーナリング大 リテーナリング小 小さい リング 大きいリング ストレートフィッティング オスのフィッティング	1 1 1 2 1 1 1 1 2 2 2 2	前側油圧フィッティングを取り付けます。
8	前用の給液ホース 前用の戻りホース ポンプ給液チューブ金属管 バルブブロックの戻りホース ポンプ給液ホース	1 1 1 1 1	油圧ホースを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
9	バルブブロック フレームブラケット ねじ5/16 x 3/4 インチ チューブブラケット バルブブロックプレート ボルト5/16" x 2" ワッシャ5/16" メスのカップラ カップラ オス プラグ キャップ チューブブラケット バルブブロックの給液ホース	1 1 2 1 1 2 2 1 2 1 2 1 1	バルブブロックを取り付けます。
10	必要なパーツはありません。	–	接続部すべての本締めを行います。
11	コントロールパネル ハーネス スイッチ PTO スイッチ ヒューズ リレーブラケット — モデル 08705 に必要。別売品。 リレー フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" — モデル 08705 に必要。別売品。 ボルト1/4 x 5/8" — モデル 08705 に必要。別売品。 ロックナット¼"	1 1 1 1 1 2 1 2 1 1	スイッチとハーネスを取り付ける。
12	ディップスティック — モデル 08705 に必要。別売品。 油圧オイル — 6.6 リットル — モデル 08705 に必要。別途入手のこと。	1 –	油圧オイルを入れ漏れがないことを確認します。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. アタッチメントを降下させる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体全体をていねいに洗浄する。取付ブラケットが正しくフィットし、油圧システム内部に汚れやゴミが侵入しないようにするため、十分にていねいに洗浄すること。

2

エアクリーナを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. エアクリーナ取り付け部周辺を十分に清掃する。
2. ホースを固定しているラジエータークランプをゆるめて、クランプをホースに下ろす。
3. エアクリーナを固定している内側ボルトを外す。

4. エアクリーナカバーとフィルタとを取り外す図 2。

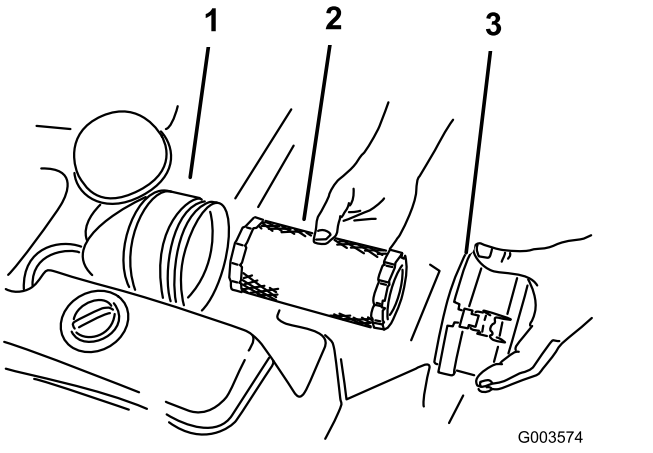


図 2

1. エアクリーナのキャニスタ
2. エアフィルタ
3. キャニスタのカバー

5. エアクリーナのキャニスタからホースを外す。
6. エアクリーナのストラップを広げ、フィルタを取り出したキャニスターの端を引き抜く図 3。

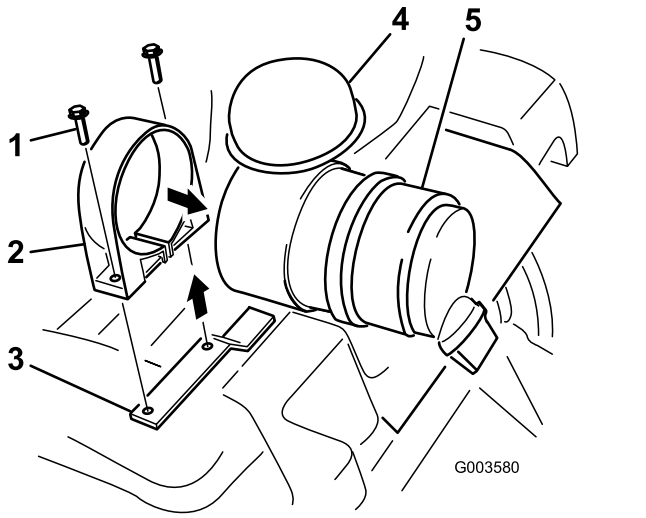


図 3

1. ボルト
2. エアクリーナのストラップ
3. 機体フレーム
4. キャップ
5. エアクリーナのキャニスタ

7. ホースにカバーをかけるかウエス を挿入するかして、本キットを取り付ける間にゴミや汚れが入らないようにする。
8. エアクリーナーストラップを機体フレームに固定している残りのボルトを外す。

3

油圧タンク、左後輪アセンブリ、シュラウド、運転席を外す。

必要なパーツはありません。

手順

1. 油圧タンクからオイルを抜く。手順についてはマシンの*オペレーターズマニュアル*を参照。
2. 機体後部を床面から浮かせ、ブロックで支える。マシンの*オペレーターズマニュアル*の「機体を持ち上げる」を参照のこと。

⚠ 警告

機械式や油圧式のジャッキが外れると重大な人身事故が発生する。

マシンをジャッキアップしたら、必ずジャッキスタンドで支えること。

3. 左後タイヤを取り外す。
4. 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定しているフランジヘッドねじ4本を外して保管する図 4。シュラウドを外して保管する。

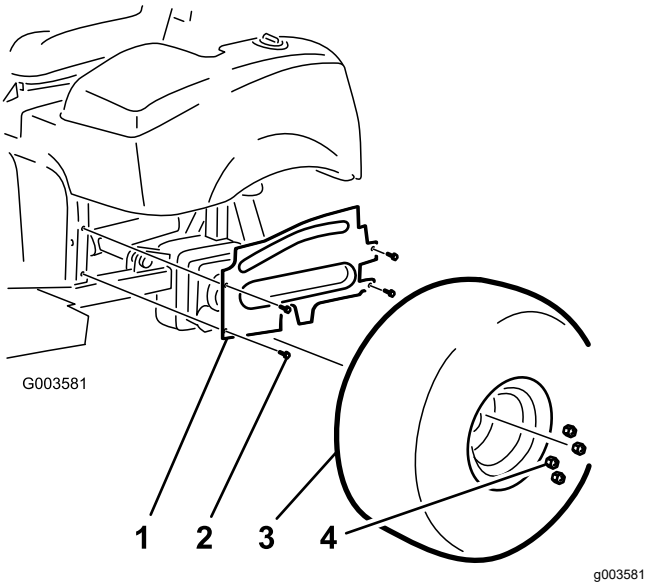


図 4

1. 左側ホイールのシュラウド
2. フランジヘッドねじ4本
3. タイヤ
4. ナット4 個

5. 左前スクリーンをフレームに固定しているフランジヘッドねじ2本を外して保管する。スクリーンを外して保管する。

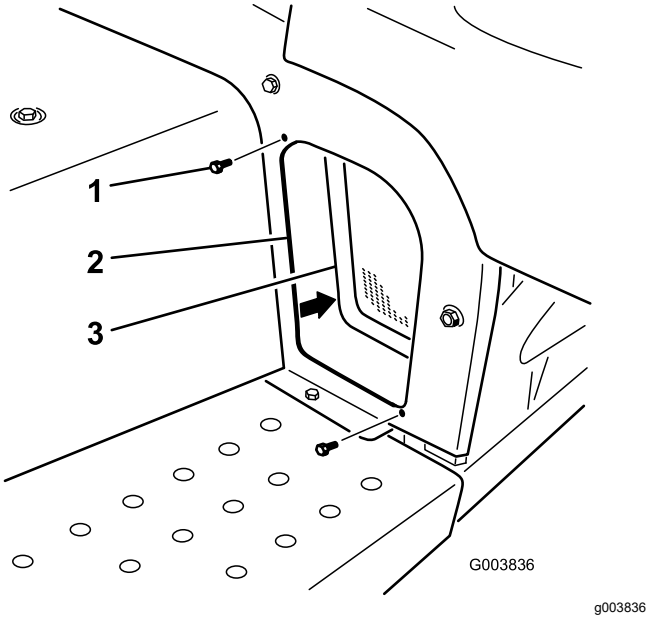


図 5

1. フランジヘッドねじ2本
2. フレーム
3. 左前スクリーン

6. リアヒッチのシールドをフレームに固定しているボルト3本を外して保管する。

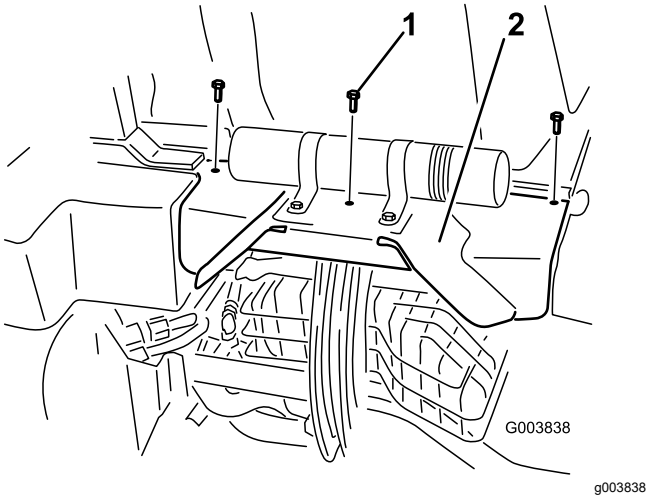


図 6

1. ボルト3 本
2. 後ヒッチシールド

7. センターシュラウドを機体に止め付けているねじ2本を外す図 7。シュラウドを外して保管する。

   注 ねじはシュラウドから外れないようになっています。

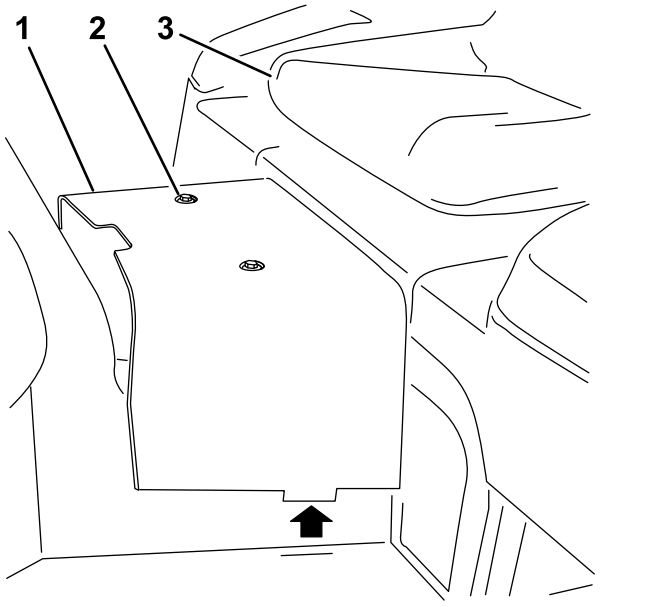


図 7

1. センターシュラウド
2. ねじ2本
3. 運転席

8. コンソールのシュラウドと運転席を外す (図 8)。

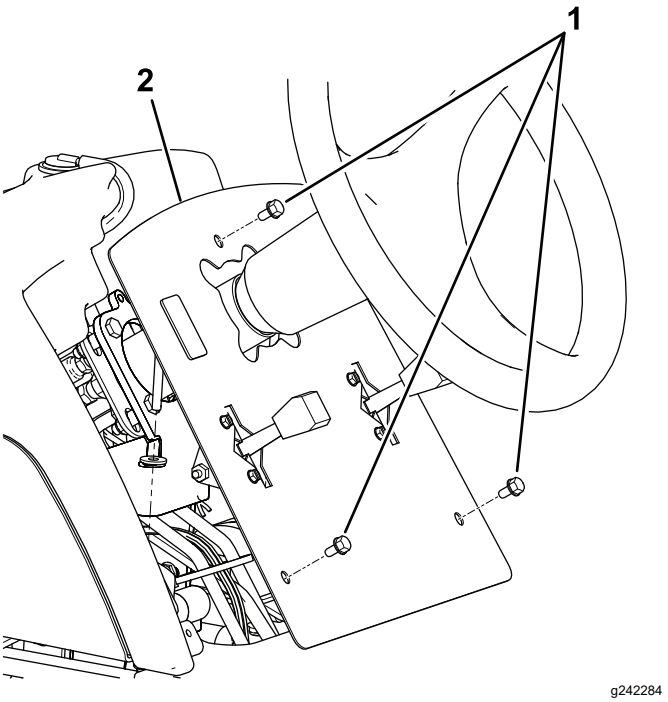


図 8

1. フランジヘッドねじ
2. コンソール

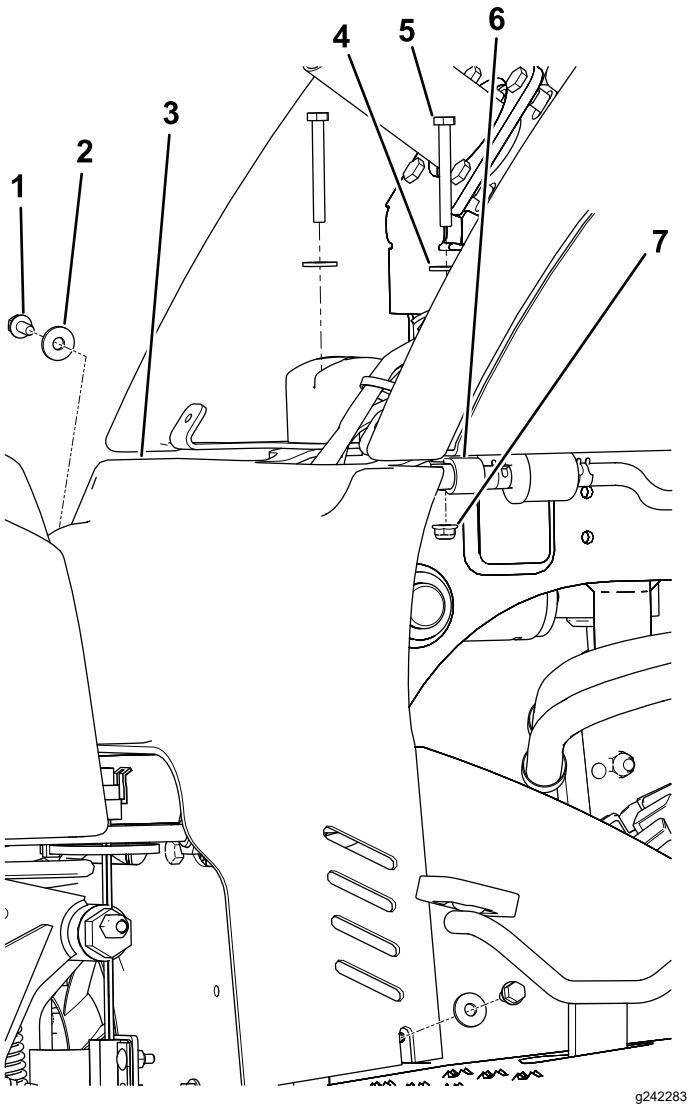


図 9

1. フランジヘッドねじ2本
2. ワッシャ2枚
3. シュラウド
4. ワッシャ2枚
5. ボルト2本
6. P クランプ
7. フランジナット2個

9. 座席スイッチから座席スイッチ用ワイヤを外して、座席ベースを機体フレームに固定しているピンを外す。

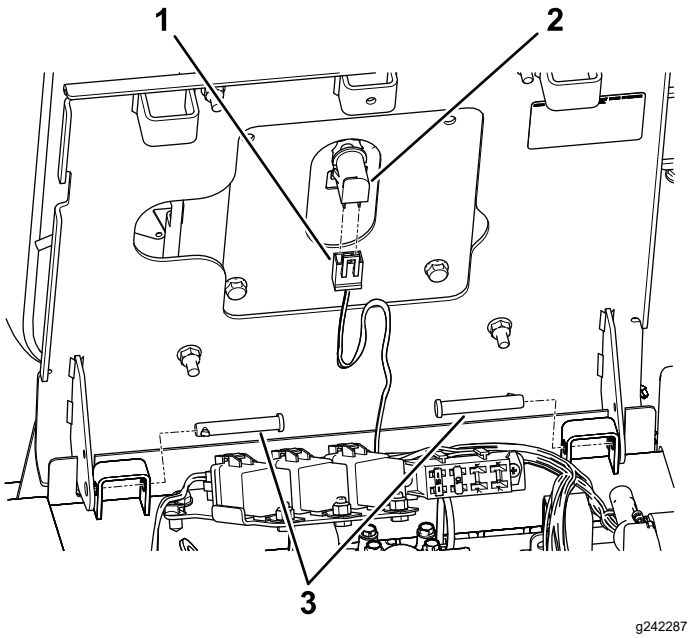


図 10

1. 座席スイッチのワイヤ
2. シートスイッチ
3. ピン

10. タンクに入る油圧ラインを外す。
11. 油圧タンクのトップブラケットをフレームから外す。フレーム側面にあるサイドブラケット 2 個をゆるめる図 11。 タンクとその金具類を外して保管する。

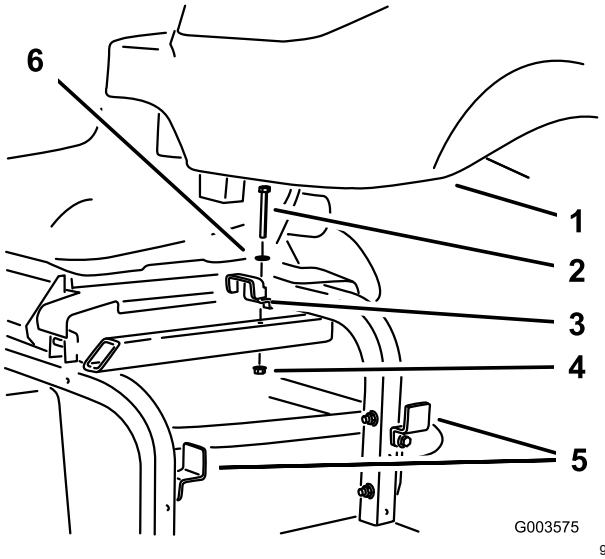


図 11

1. 油圧タンク
2. ボルト
3. 上部ブラケット
4. ナット
5. サイドブラケット
6. ワッシャ

4

後ヒッチチューブと昇降システムを外す。

必要なパーツはありません。

手順

図 12のように後ヒッチチューブを取り外します。

外したヒッチアセンブリとその金具類は後に使用します。

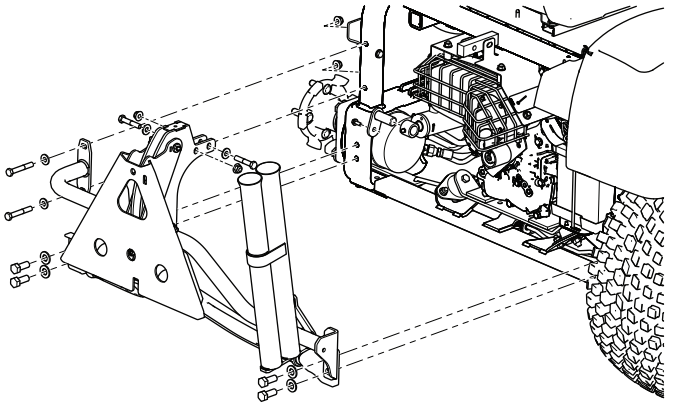


図 12

5

油圧オイルタンクにフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	小さい 90 度ティーバーブ
1	大きい 90 度エルボ両端にねじ山付き
1	ストレーナ
1	バルブブロックの戻りホース

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 図に示す角度で金具を設置してください。タンク側フィッティングの締め付けはすべてレンチでバックアップしてください。

1. 油圧タンクの側面についているプラグ2個を取り外す。
2. 大きいプラグを取り外した所に、ストレーナを取り付ける。
3. ストレーナに大きい 90度エルボを取り付ける。
4. 小さいプラグを取り外した所に、小さい 90度ティーバーブ付きを取り付ける図 13。

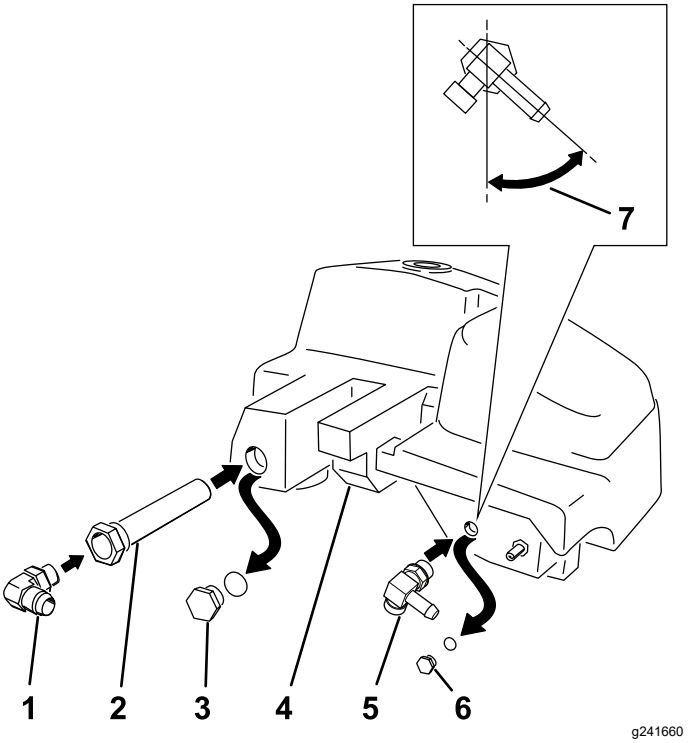


図 13

1. 大きい 90 度エルボ図のような角度に取り付ける。
2. ストレーナ
3. 大きいプラグを取り外す。
4. 油圧タンク
5. 小さい 90 度ティー図に示す角度で取り付ける
6. 小さいプラグを取り外す。
7. 45度

5. 油圧オイルタンクに取り付けたフィッティングにバルブブロックの戻りホースを接続する。

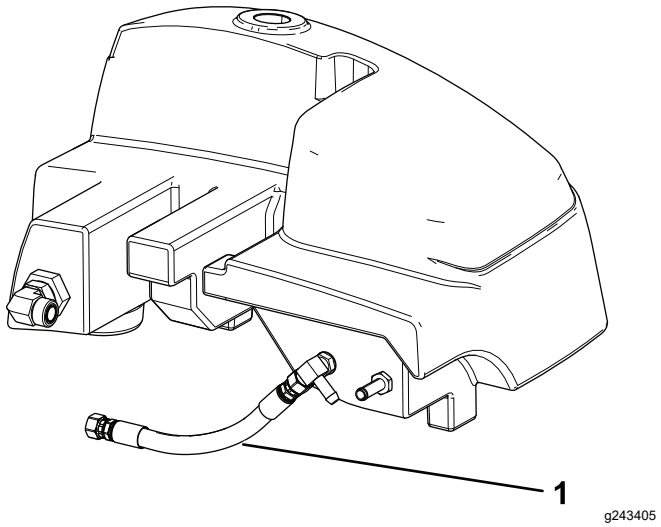


図 14

1. バルブブロックの戻りホース

6

油圧ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	油圧ポンプ
1	90度フィッティングオス端部
1	ハブアセンブリ
1	角キー(1/4 x 1 インチ
4	固定ねじ5/16 x 3/4"
1	ポンプブラケット
2	ボルト 5/16 x 3/4"ねじ山にロッキングコンパウンドを塗りつける
2	ワッシャ⅜"
1	大きい 90 度エルボホース側端部はバーブ

手順

1. 油圧ポンプにトルクアームを取り付ける図 15。

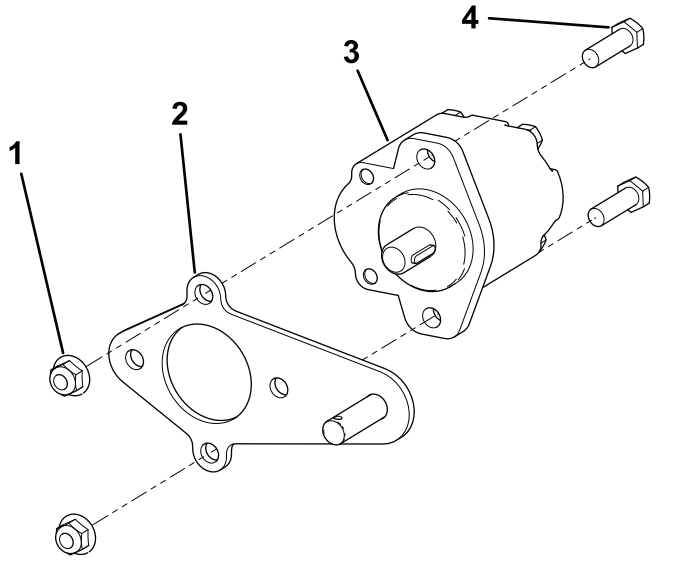


図 15

1. フランジナット2個
2. トルクアーム
3. ポンプ
4. ボルト2本

2. 90 度の角エルボを油圧ポンプの上部に取り付ける。
3. 90 度エルボを油圧ポンプの底部に取り付ける図 16。

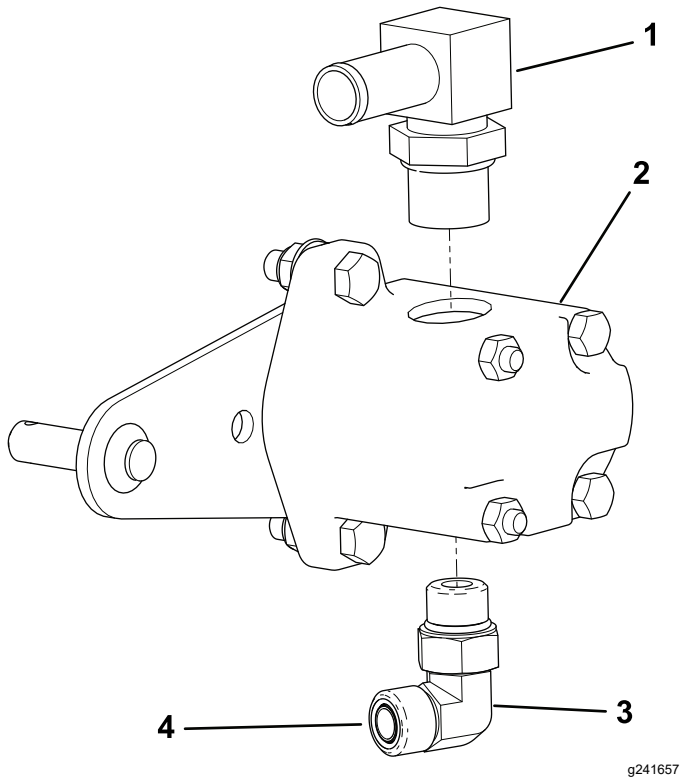


図 16

1. 90 度のエルボホースのバーブ側端部
2. 油圧ポンプ
3. 90° エルボ
4. メス端部

4. エンジンの PTO についているカバーを外す図 17を参照。

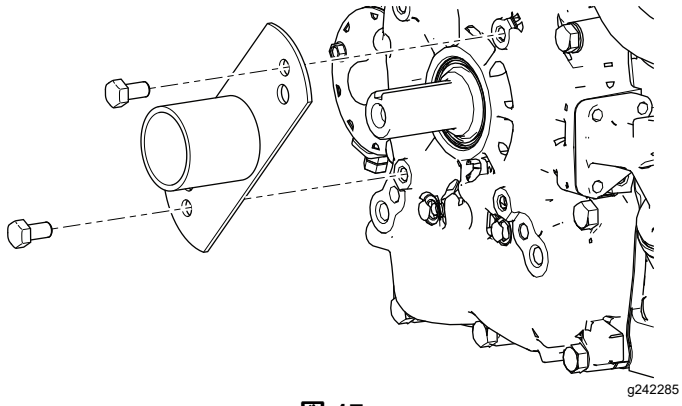


図 17

5. エンジンにポンプブラケットを取り付けるボルト2本5/16 x ¾"とワッシャ2枚⅜"を使用する。ポンプブラケットの正しい取り付け位置は図 18を参照。

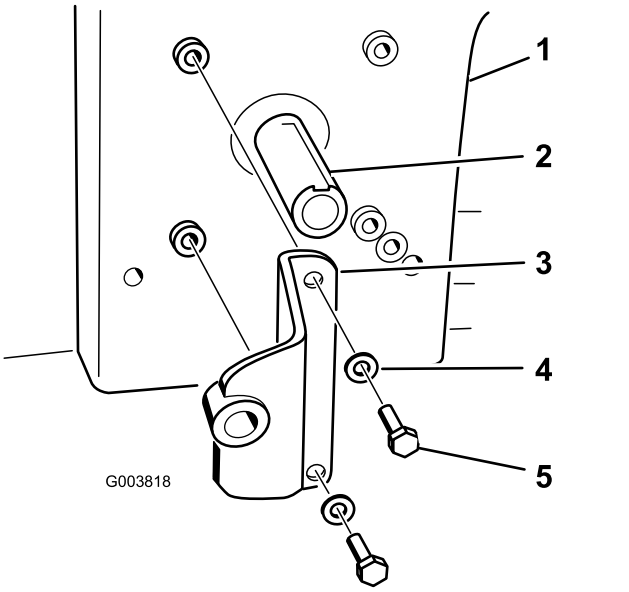


図 18

1. エンジン
2. エンジンの PTO シャフト
3. ポンプブラケット
4. ワッシャ⅜"
5. ボルト5/16 x ¾"

6. エンジンの PTO シャフトと油圧モータのシャフトに固着防止剤を塗布する。
7. エンジン PTO シャフトのスロットに、角型キー1/4 x 1"を取り付ける図 19。
8. 角型キーに合わせて、ハブアセンブリをエンジンの PTO シャフトに取り付ける図 19。

   注 ハブアセンブリが完全に奥まで入っていることを確認してください。

9. 取り外し可能なねじ山ロック剤を塗布した固定ねじ2本で、ハブアセンブリを PTO シャフトに固定する図 19。

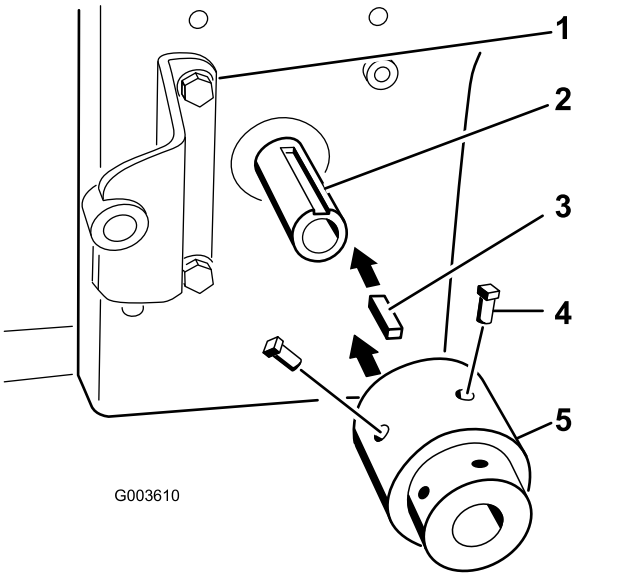


図 19

1. ポンプブラケット
2. エンジンの PTO シャフト
3. 角キー1/4 x 1"
4. 固定ねじ5/16 x 3/4"
5. ハブアセンブリ

10. ポンププレートのスタッドをポンプブラケットに挿入しながら、油圧ポンプのシャフトをハブアセンブリに挿入する。

    注 油圧ポンプのシャフトは、エンジン PTO シャフトの端に接触します図 20。

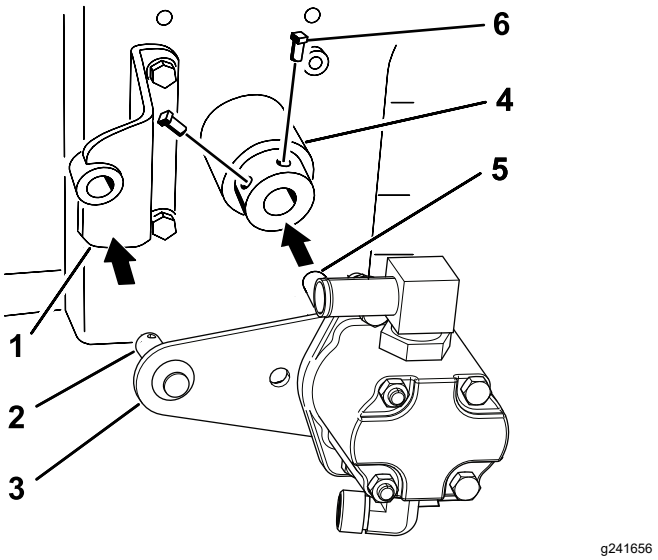


図 20

1. ポンプブラケット
2. ポンププレートのスタッド
3. ポンププレート
4. ハブアセンブリ
5. 油圧ポンプのシャフト
6. 固定ねじ5/16 x 3/4"

11. ポンププレートとハブアセンブリとの間にすき間があることを確認する。すき間がないのは、ハブアセンブリの取り付けが正しくないので、正しく着座させることが必要である図 21。

重要 **ハブアセンブリは、シャフトの奥まで完全に入っている必要があります。.**

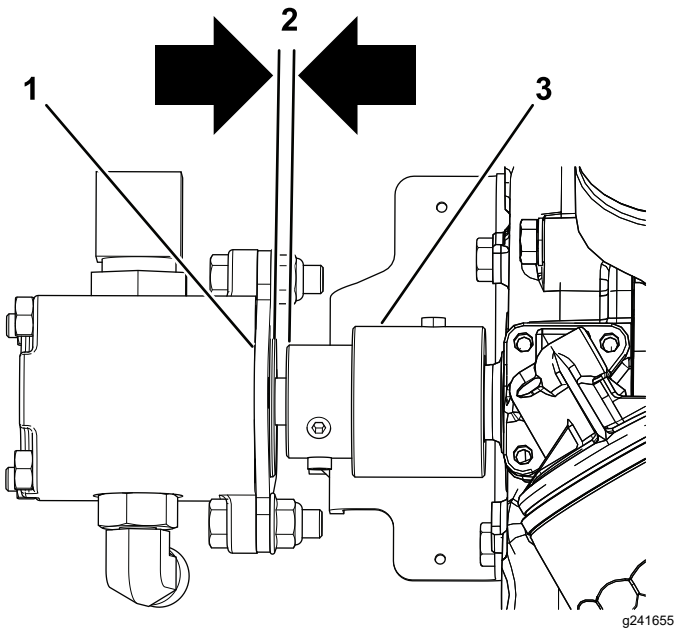


図 21

1. ポンププレート
2. ポンププレートとハブアセンブリとの間に 1.0-3.1 mm のすき間
3. ハブアセンブリ

12. 取り外し可能なねじ山ロック剤を塗布した固定ねじ2本で、ハブアセンブリを油圧ポンプのシャフトに固定する図 20。

7

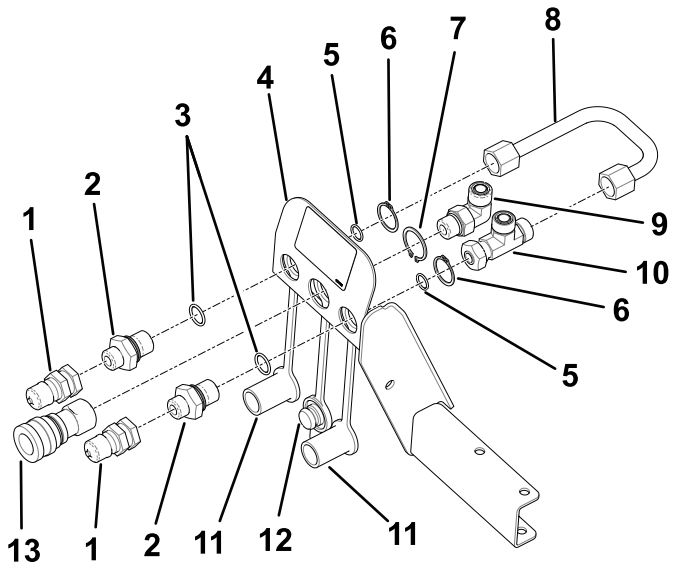
前側油圧フィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	U字フィッティング金属管
1	90° エルボ
1	字フィッティング
2	キャップ
1	プラグ
1	メスのフィッティング
1	リテーナリング大
1	リテーナリング小
2	小さい リング
2	大きいリング
2	ストレートフィッティング
2	オスのフィッティング

手順

1. 各フィッティングをブラケットに取り付ける図 22。

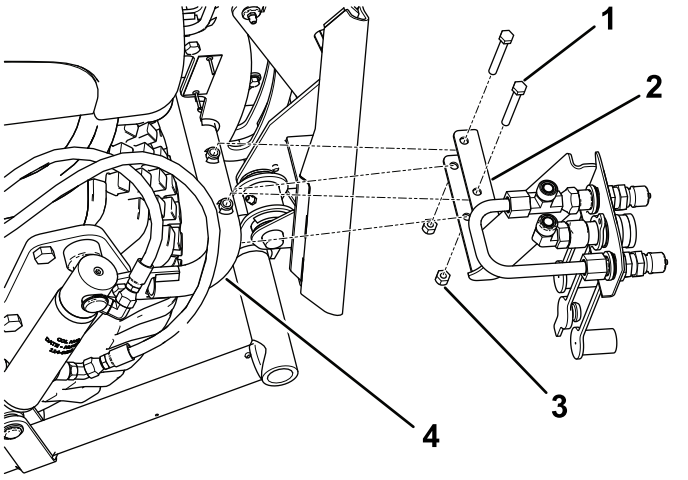


g241672

図 22

1. オスのフィッティング
2. ストレートフィッティング
3. 大きいリング2個
4. ブラケット
5. 小さい リング2個
6. リテーナリング小
7. リテーナリング大
8. U字フィッティング金属管
9. 90° エルボ
10. 字フィッティング
11. キャップ
12. プラグ
13. メスのフィッティング

2. 前昇降フレームにブラケットを取り付ける。



g241673

図 23

1. ボルト2本
2. ブラケット
3. ナット2個
4. 前昇降フレーム

8

前側油圧ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	前用の給液ホース
1	前用の戻りホース
1	ポンプ給液チューブ金属管
1	バルブブロックの戻りホース
1	ポンプ給液ホース

手順

油圧ラインとホースの正しい配置については 図 24と図 25を参照。

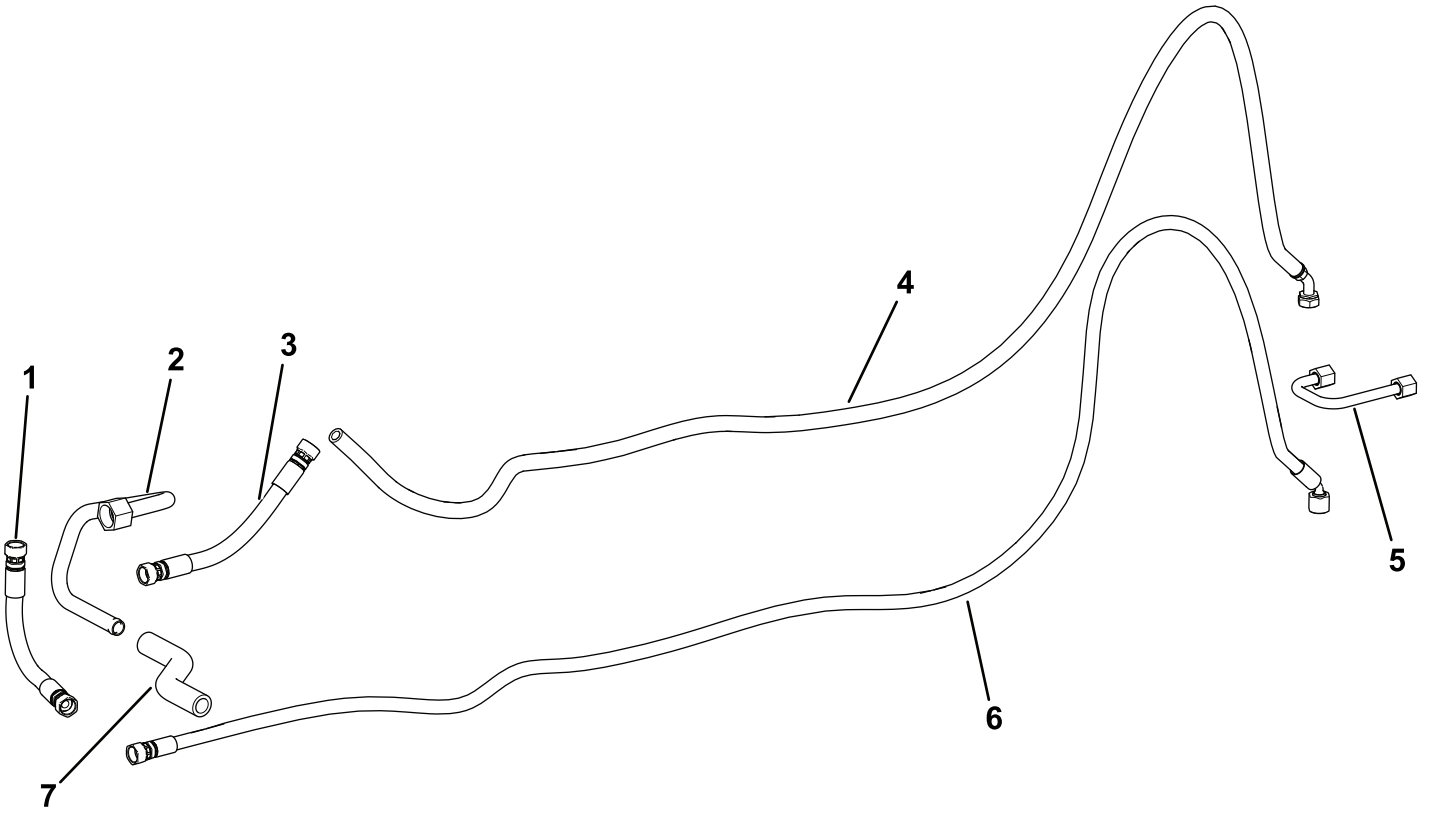
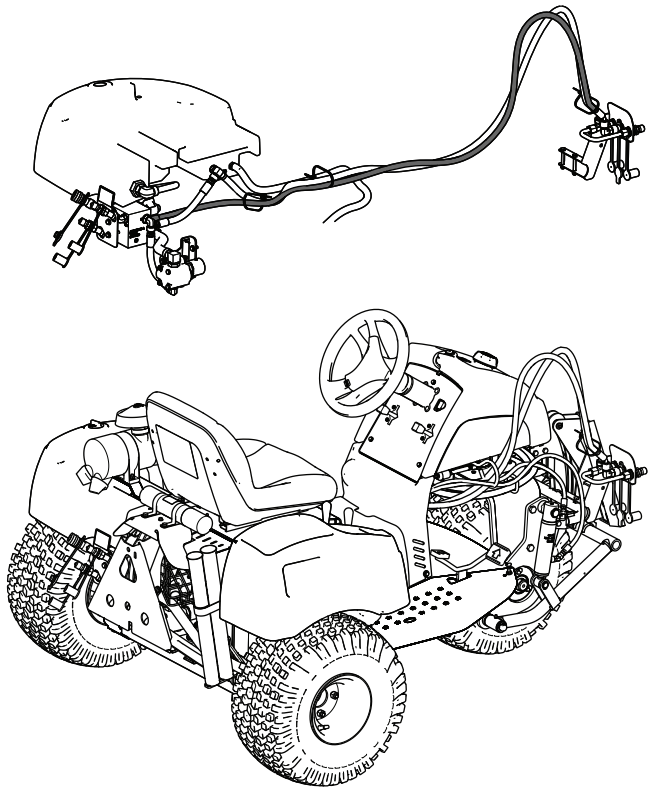


図 24

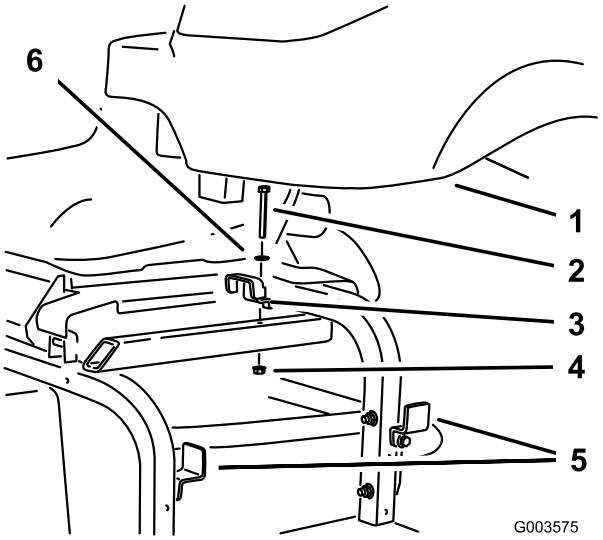
1. バルブブロックの給液ホース
2. ポンプ給液チューブ金属管
3. バルブブロックの戻りホース
4. 前用の戻りホース
5. U字フィッティング金属管
6. 前用の給液ホース
7. ポンプ給液ホース



g241740

図 25

1. 既存のホースを油圧タンクの右前コーナー部に取り付ける。
2. 油圧タンクをフレームに取り付け、先に取り外したブラケットとゆるめたブラケット全部で 3 つのブラケットで固定する図 26。

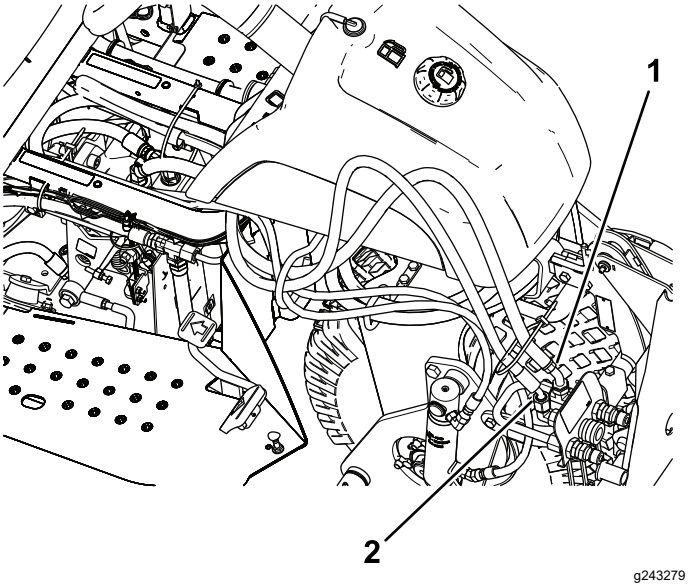


g003575

図 26

1. 油圧タンク
2. ボルト
3. 上部ブラケット
4. ナット
5. サイドブラケット
6. ワッシャ

3. 前用の給液ホースを、ブラケット中央のエルボフィッティングに取り付ける図 27。

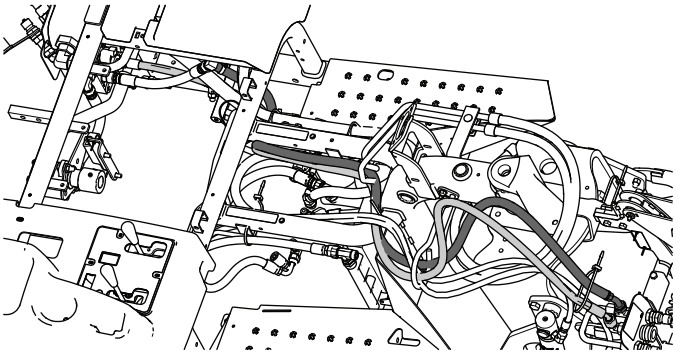


g243279

図 27

1. 前用の戻りホース
2. 前用の給液ホース

4. 前用の給液ホースを、ブラケット中央のエルボフィッティングに取り付ける図 27。
5. 前用のホースを図 28のように配置する。



g243529

図 28

1. 前用の戻りホース
2. 前用の給液ホース

6. タンク用ブラケットを機体フレームに固定しているナットとボルトを外して廃棄する。タンク用ブラケットは捨てないこと図 29。

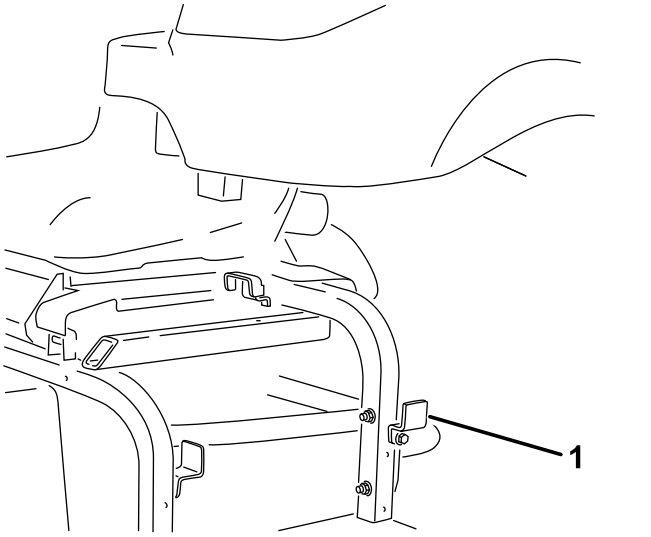


図 29

1. タンクブラケット

7. ポンプ給液ライン金属管とポンプ給液ホースを図 30に示すように位置決めする。

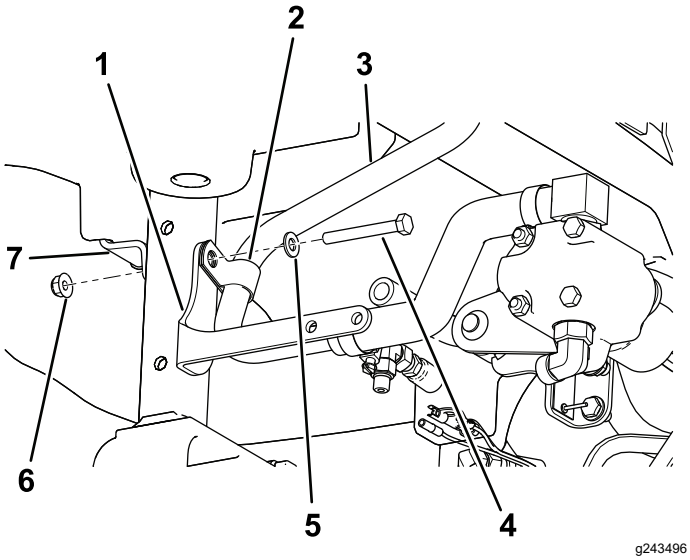


図 30

1. フレームブラケット
2. P クランプ
3. ポンプ給液チューブ
4. ボルト5/16 x 2½"
5. ワッシャ5/16"
6. フランジナット5/16"
7. タンクブラケット既存

8. P クランプ、ポンプ給液チューブ、タンク用ブラケット、フレーム用ブラケットを機体フレームに取り付ける ボルト、ワッシャ、ナットで図 30のように取り付ける。
9. ポンプ給液チューブ金属管を、油圧オイルタンクのストレーナに取り付けた大きい 90 度エルボにを取り付ける図 31。

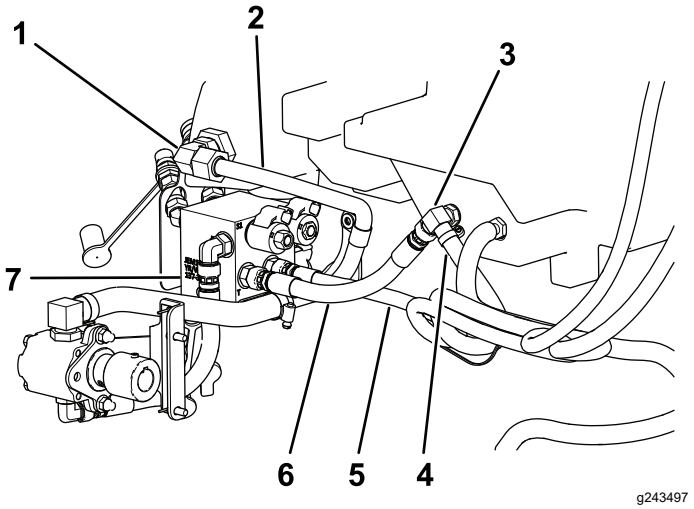


図 31

1. 大きい 90° エルボ
2. ポンプ給液チューブ
3. 字フィッティング
4. 前用の戻りホース
5. 前用の給液ホース
6. バルブブロックの戻りホース
7. バルブブロック

9

バルブブロックを取り付ける

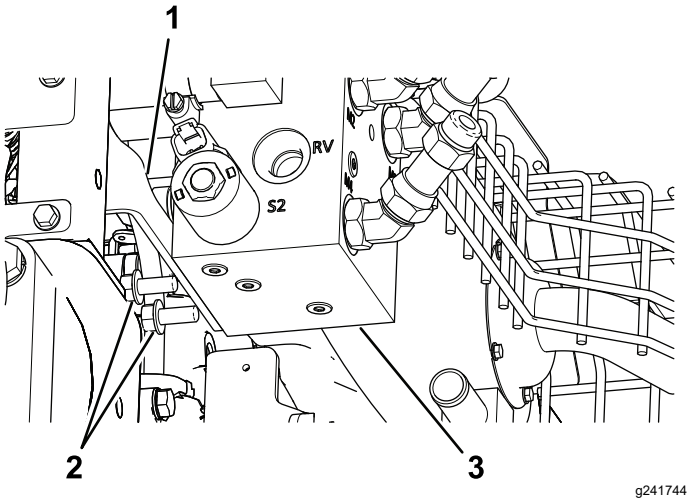
この作業に必要なパーツ

1	バルブブロック
1	フレームブラケット
2	ねじ5/16 x 3/4 インチ
1	チューブブラケット
1	バルブブロックプレート
2	ボルト5/16" x 2"
2	ワッシャ5/16"
1	メスのカップラ
2	カップラ オス
1	プラグ
2	キャップ
1	チューブブラケット
1	バルブブロックの給液ホース

手順

1. 前用の給液ホースの未接続側を、バルブブロックのポート M1 に取り付けられたフィッティングに接続する図 31。

2. 前用の戻りホースの未接続側を、油圧オイルタンクに取り付けられたT字フィッティングのバーブに接続する。
3. バルブブロック用の戻りホースの未接続側を、バルブブロックのポートTに取り付けられたフィッティングに接続する。
4. バルブブロックをフレームブラケットに仮止めするねじ2本を使用する図 32。



g241744

図 32

1. フレームブラケット
2. ねじ5/16 x 3/4"
3. バルブブロック

5. 後ヒッチフレームを取り付ける保管してある金具類を再使用する図 33。

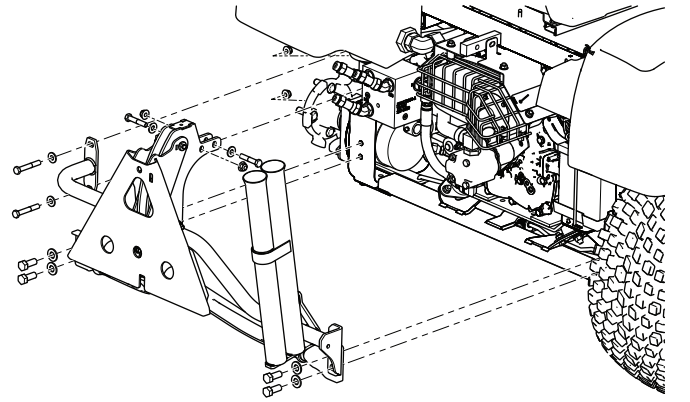
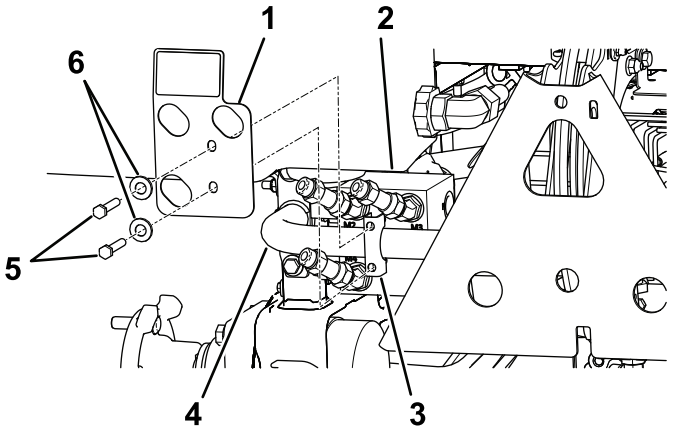

g243404

図 33

6. バルブブロックプレートとチューブブラケットを後ヒッチフレームのチューブに合わせて、ヒッチフレームとバルブブロックにねじ2本で固定する図 34。

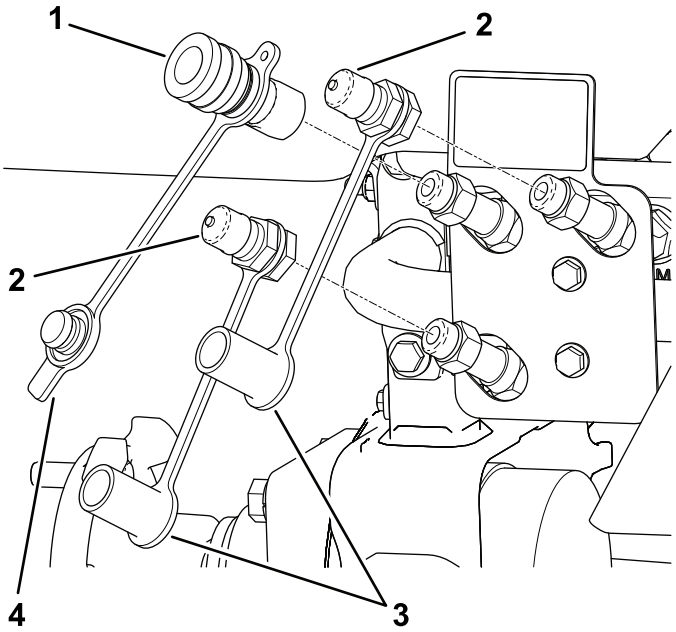


g241745

図 34

1. バルブブロックプレート
2. バルブブロック
3. チューブブラケット
4. 後ヒッチフレーム
5. ボルト5/16 x 2"
6. ワッシャ5/16"

7. 油圧フィッティングにカップラを取り付ける図 35。

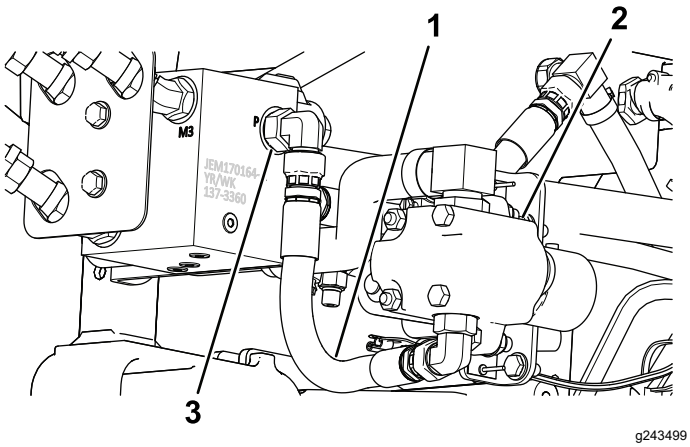


g242373

図 35

1. カップラメス
2. カップラオス
3. キャップ
4. プラグ

8. メスのカップラにはプラグ、オスのカップラにはキャップを取り付ける。
9. バルブブロックの給液ホースを、ポンプ底部のフィッティングに取り付ける図 36。



g243499

図 36

1. バルブブロックの給液ホース
2. ポンプ
3. ポート P ス

10. バルブブロック用の給液ホースの他端を、バルブブロックのポート P に取り付ける図 36。
11. 各締め具を本締めする。

10

接続部すべての本締めを行う

必要なパーツはありません。

手順

重要 **どのホースも油圧配管も、鋭利な部分、高温になる部分、可動部などに接触していないことを確認してください。**

バルブブロックがタンクやホースに接触していないことを確認してください。

すべての油圧ラインとホースの接続ができたら、それら全部の接続部の本締めを行います。

注 フィッティングの締め付けはすべてレンチでバックアップしてください。

11

スイッチ、リレー、ハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	コントロールパネル
1	ハーネス
1	スイッチ
1	PTO スイッチ
1	ヒューズ
2	リレーブラケット — モデル 08705 に必要。別売品。
1	リレー
2	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4" — モデル 08705 に必要。別売品。
1	ボルト1/4 x 5/8" — モデル 08705 に必要。別売品。
1	ロックナット¼"

手順

注 サンドプロモデル 08705にこのキットを取り付ける場合には、追加部品が必要になります。このキットに同梱されている補遺文書を参照してください。

1. バッテリーの接続を外す; トラクションユニットの *オペレーターズマニュアル* を参照。
2. 機体からコントロールパネルを外す図 37。

   外したキャップスクリュとワッシャは捨てないこと。

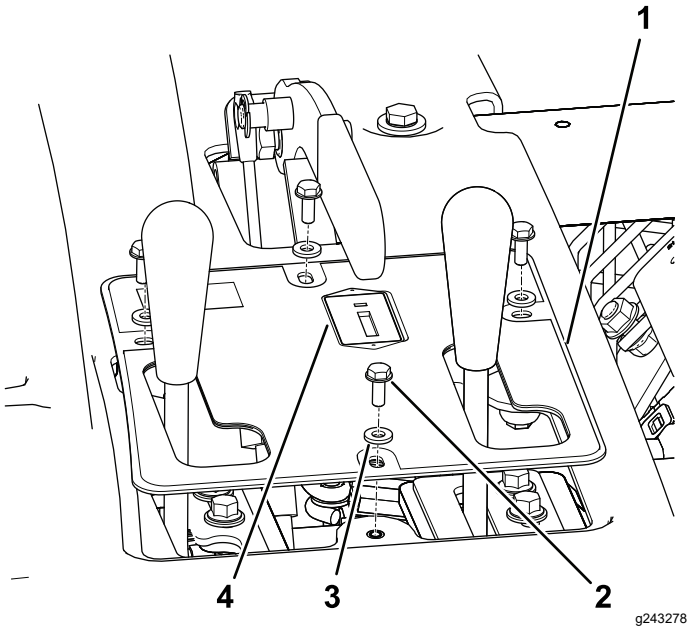


図 37

1. 既存のコントロールパネル
2. キャップスクリュ4本
3. ワッシャ 4枚
4. アワーメータ

3. 既存のコントロールパネルからアワーメータを外す。
4. 新しいパネルに、アワーメータ、PTO スイッチ、アタッチメントスイッチを取り付ける図 40。
5. スイッチからのハーネスを、運転席の蝶番に沿って図 38のように配設する。

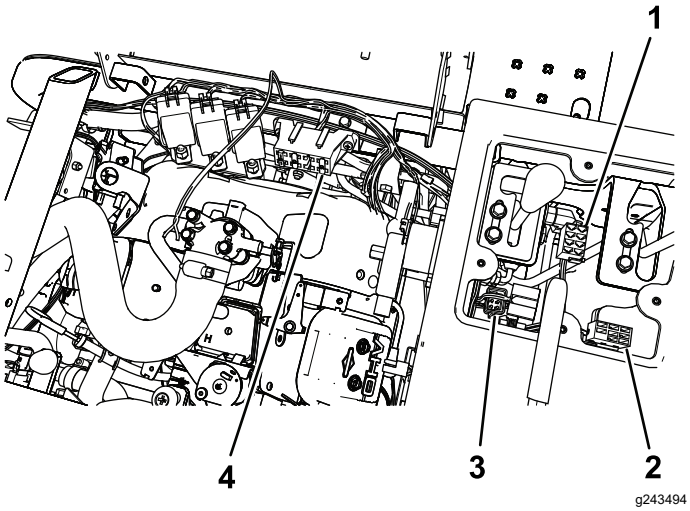


図 38

1. スイッチ用コネクタ
2. PTO コネクタ
3. メインハーネスのコネクタ
4. ヒューズブロック

6. コントロールパネル下のメインハーネスについているジャンパ線を外す図 39。

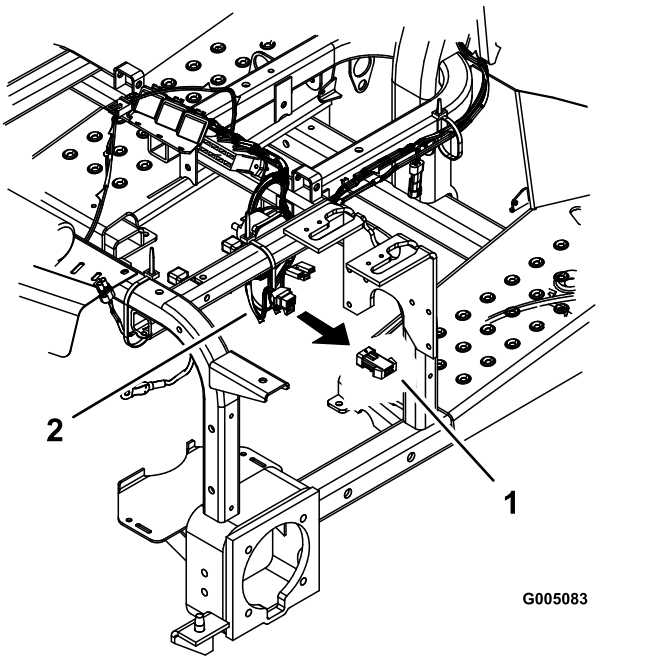


図 39

1. ジャンパ線
2. メインハーネスのコネクタ

7. コントロールパネル内のスイッチにハーネスを取り付ける図 40。
8. メインハーネスに、メインハーネスコネクタを接続する図 40。
9. キットのハーネスについているコネクタを、対応するコネクタに接続するメインのコネクタをマシンのメインハーネスに、PTO コネクタを PTO スイッチに、スイッチコネクタをセレクタスイッチに接続する。

   既存のアワーメータのコネクタをアワーメータに接続する。

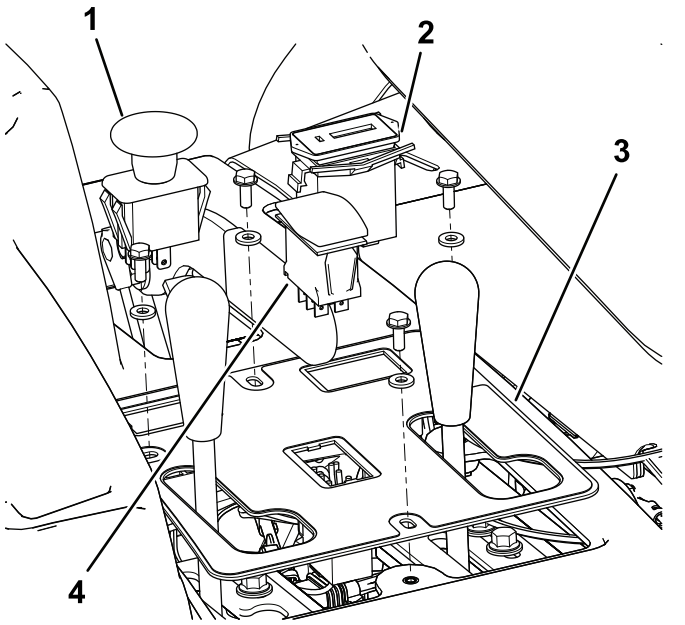


図 40

1. PTO スイッチ
2. アワーメータ
3. コントロールパネル
4. アタッチメントのスイッチ

10. コントロールパネルを機体に取り付ける。元のキャップスクリュとワッシャを使用する。
11. ヒューズボックスの右側スロットにヒュースを取り付ける図 38。
12. サンドプロモデル 08705にこのキットを取り付ける場合には、マシンのフレームにリレーブラケットとリレーを取り付けてください図 41。

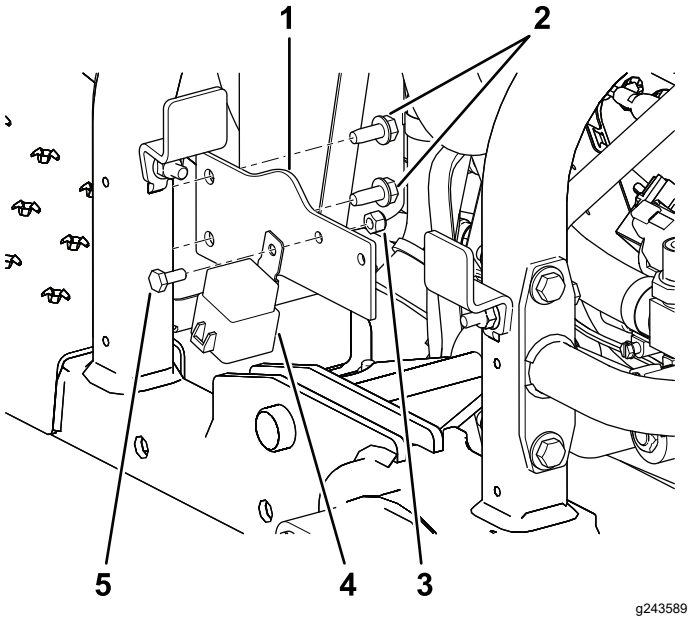


図 41

モデル 08705 のみ

1. リレーブラケット — 別売品
2. フランジヘッドボルト5/16" x ¾" — 別売品
3. ロックナット¼"
4. リレー
5. ボルト1/4 x 5/8" — 別売品。

13. サンドプロモデル 08745にこのキットを取り付ける場合には、既存のリレーブラケットにリレーを取り付けてください図 42。

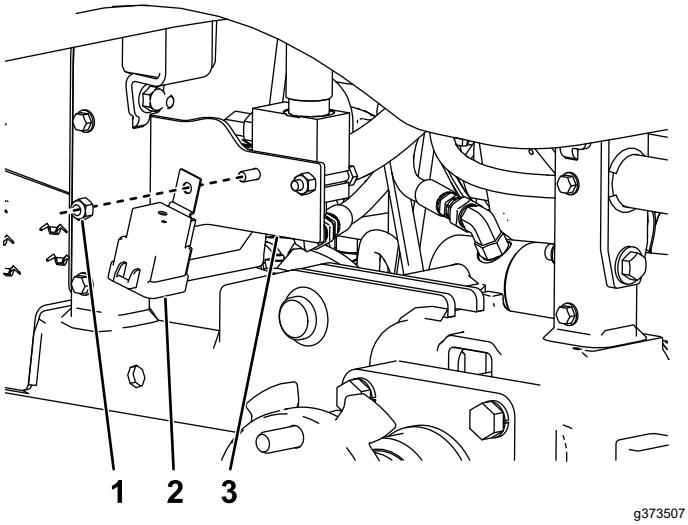
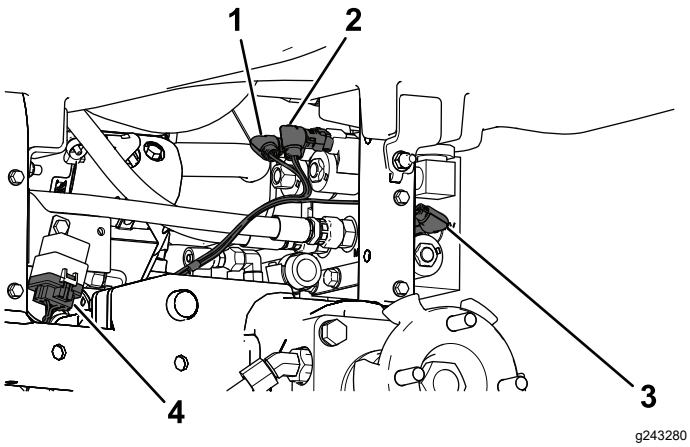


図 42

1. ロックナット¼"
2. リレー
3. ブラケット

14. リレーに四角いコネクタを接続する (図 43)。



g243280

図 43

1. タンクへの戻りブロックの S1 に接続
2. 後部アタッチメントブロックの S3 に接続
3. 前部アタッチメントブロックの S2 に接続
4. 四角いコネクタ

15. バルブ3個に小さなコネクタ3個を接続する図 43。
16. バッテリーを接続する; トラクションユニットの*オペレーターズマニュアル*を参照。

12

油圧オイルを入れ漏れがないことを確認する

この作業に必要なパーツ

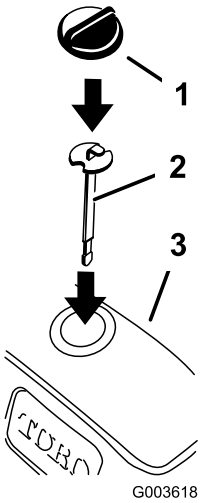
1	ディップスティック — モデル 08705 に必要。別売品。
–	油圧オイル — 6.6 リットル — モデル 08705 に必要。別途入手のこと。

手順

きっと取り付け後の油圧システムの容量は 26.5 リットルとなります。

油圧オイルの詳細についてはマシンの*オペレーターズマニュアル*を参照してください。

1. このキットをモデル 18705 に取り付けている場合には、以下を行う
   A. 油圧オイルタンクについている古いディップスティックを取り外して捨てる。
   B. 所定の油圧オイルの約 80 をタンクにゆっくりと注ぎ入れる。
   C. 残りの油圧約 6.6 リットルを入れる。
   D. 新しいディップスティック別売品を取り付ける。
2. ディップスティックを抜き取って油圧オイルの量を点検する図 44。
3. オイル量が不足している場合には、**Full** マークまでゆっくり追加する。



G003618

g003618

図 44

1. 油圧オイルタンクのキャップ
2. ディップスティック
3. 油圧タンク

4. マシンを起動し、5 分ほど運転した後、段ボールを使用してオイル漏れがないかを確認する。
5. マシンを停止させ、必要に応じて修正を行う。
6. コンソールのシュラウドと運転席を取り付ける図 8。

   ***重要*P クランプを取り付けて燃料ホースを確実に固定してください図 9。**
7. コンソールを取り付ける。
8. 左前スクリーンをフレームに取り付ける。
9. フランジヘッドねじ 4 本を使用して、フロントシュラウドをフレームに取り付ける。
10. 左ホイール用のシュラウドをフレームに取り付ける保管していたフランジヘッドねじ4本を使用する図 45。
11. 左後タイヤを取り付ける図 45。

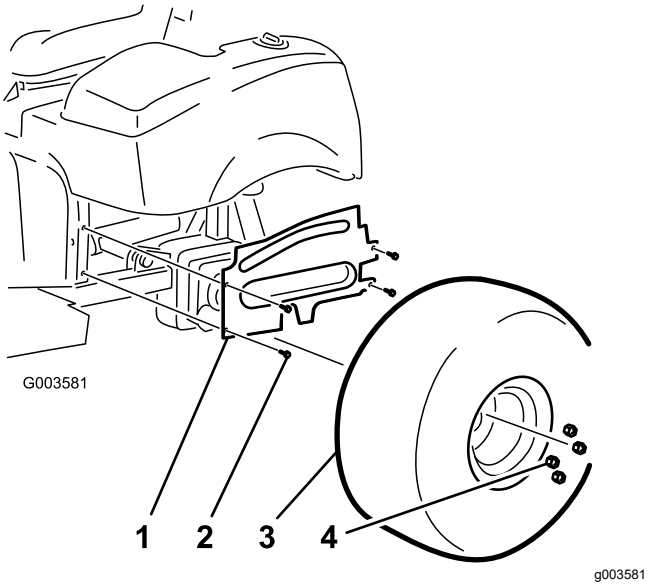
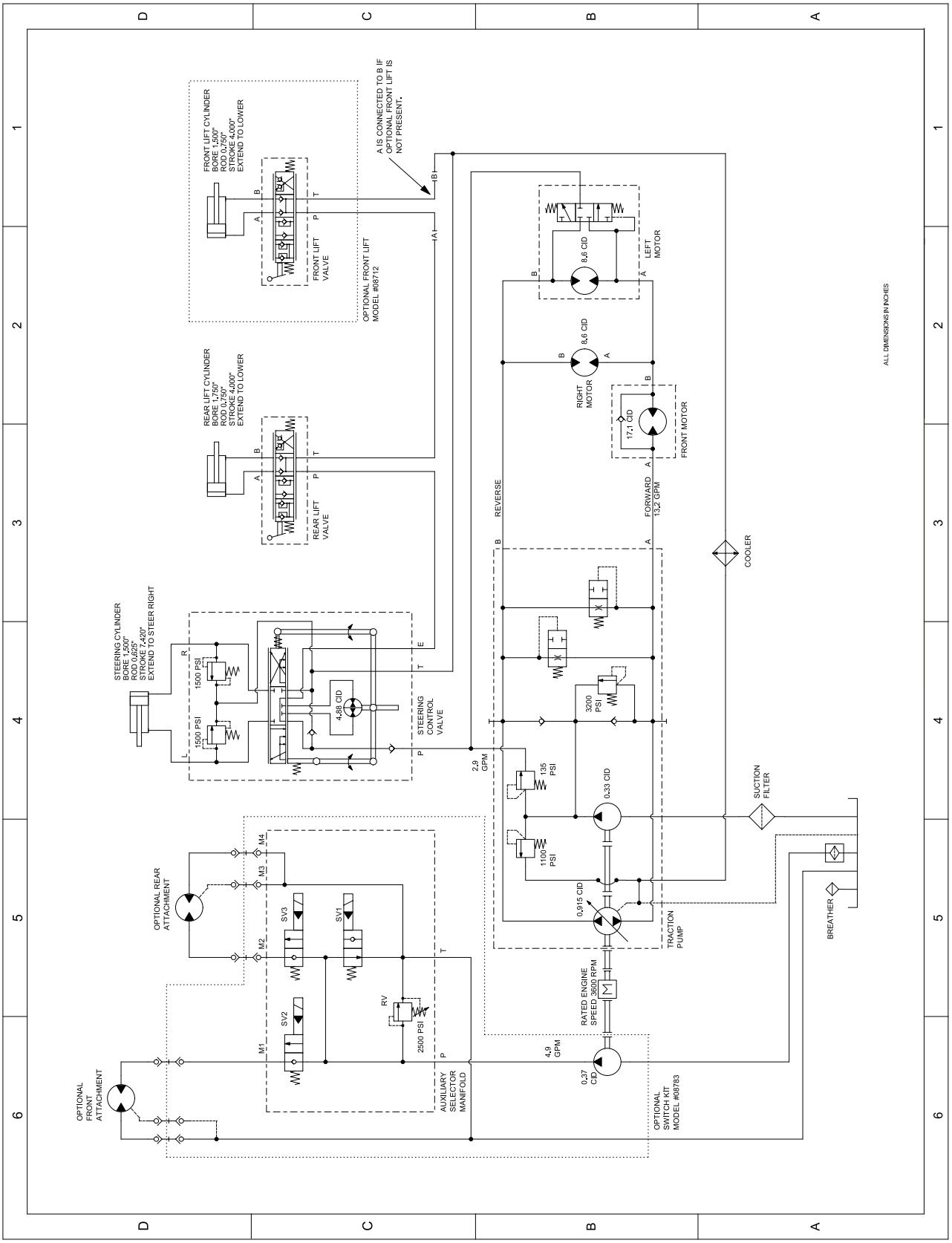


図 45

1. 左側ホイールのシュラウド
2. フランジヘッドねじ
3. 左タイヤ
4. ナット

12. 機体を床に降ろす。
13. リアヒッチシールドを取り付ける図 6。
14. エアクリーナアセンブリを取り付ける図 2と図 3。

図面



g241136

油圧ホース137-3385 (Rev. A)

メモ

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08783	410000000 以上	油圧スイッチキット	HYDRAULIC SWITCH KIT, SANDPRO 5040 08705	油圧キット	2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 18, 2022

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08783	410000000 以上	油圧スイッチキット	HYDRAULIC SWITCH KIT, SANDPRO 5040 08705	油圧キット	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 18, 2022

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡くださいlegal@toro.com。

セキュリティーについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あなたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようにお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクサセリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。 摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。